

岩手県企業短期経済観測調査結果（2009年3月）

調査対象企業数 63社：回答数 63社（製造業 26社、非製造業 37社）、回収率 100%
回答期間：2月23日～3月31日

1. 業況判断

調査対象先の業況判断指数（D.I.）は、製造業、非製造業とも悪化した。

先行きについては、製造業が横ばい、非製造業が悪化を予測。

業種別にみると、製造業では、内外需要の急速な落ち込みから、電気機械、一般機械、精密機械、鉄鋼、紙・パルプなど、幅広い業種で悪化したことから、「悪い」超幅が大幅に拡大（前回 16 今回 52）。先行きについては、一般機械、食料品が悪化する一方、在庫調整の進展などから、精密機械、紙・パルプが改善すると予測しており、全体では横ばい（52 予測 52）。

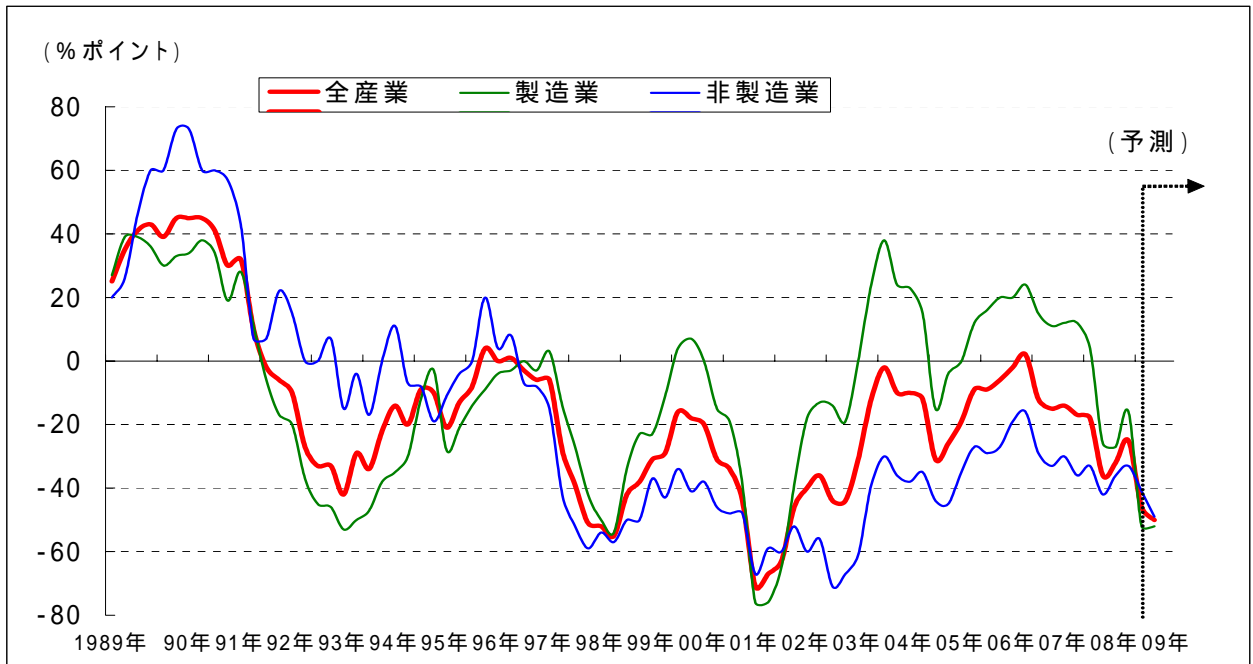
非製造業では、原料コストの減少などから、電気・ガスが改善したが、競争激化に伴う利益率の低下や手持工事の減少から、建設が悪化したほか、売上減少から、卸・小売が大幅に悪化したため、「悪い」超幅が拡大（前回 33 今回 41）。先行きについても、公共工事や広告原稿の減少などを懸念して、建設、情報通信が悪化すると予測しており、「悪い」超幅が拡大（41 予測 49）。

（業況判断D.I.の推移）

（「良い」 - 「悪い」）回答社数の構成比、%ポイント。（ ）内は前回予測。

	07/12月	08/3月	6月	9月	12月	09/3月	6月 (予測)
製造業	12	4	26	27	16	52 (46)	52
素材業種	29	29	57	57	0	50 (29)	33
加工業種	27	16	16	15	21	53 (53)	58
食料品	0	20	20	20	20	20 (0)	0
電気機械	33	17	67	50	50	67 (67)	67
非製造業	36	33	42	36	33	41 (41)	49
建設	32	31	50	40	20	33 (40)	46
卸・小売	50	38	29	14	29	71 (43)	57
全産業	17	18	36	32	25	46 (43)	50

〔図〕業況判断D.I.の推移



(参考) 東北地区(6県)及び全国の業況判断D.I.の推移 ()内は前回予測。

		07/12月	08/3月	6月	9月	12月	09/3月	6月 (予測)
製造業	岩手	12	4	26	27	16	52(46)	52
	東北	3	4	12	16	30	60(50)	57
	全国	9	2	3	11	25	57(44)	59
非製造業	岩手	36	33	42	36	33	41(41)	49
	東北	21	28	33	34	37	46(44)	49
	全国	3	7	10	16	23	38(33)	46
全産業	岩手	17	18	36	32	25	46(43)	50
	東北	12	18	24	27	34	52(46)	53
	全国	2	4	7	14	24	46(38)	52

2. 売上高・収益（2008年度実績見込み、2009年度計画）等

2008年度の売上高、経常利益は、製造業が減収赤字、非製造業が減収増益の見込み。前回調査比では、製造業は、海外受注の急速な減少などから、売上高は1割強の下方修正、経常利益は赤字幅拡大。一方、非製造業は、売上高は横這いながら、燃料費や仕入価格の下落から、経常利益は4割強の上方修正。

2009年度は、経費削減と仕入価格の低下期待などから、減収ながらも黒字転化（製造業）ないし増益（非製造業）の計画。

（売上高・経常利益）

上段：前年同期比・%、下段（ ）：前回調査比修正率・%

	2008年度 (実績見込み)		2009年度 (計画)					
	売上高	経常利益	売上高			経常利益		
			年度	上期	下期	年度	上期	下期
製造業	19.7 (13.0)	欠損	7.9	28.9	23.8	利益	欠損	利益
素材業種	3.2 (8.3)	欠損	5.7	10.8	0.5	利益	利益	利益
加工業種	20.3 (13.2)	欠損	8.0	29.6	25.1	利益	欠損	利益
非製造業	4.2 (0.2)	27.0 (42.5)	3.7	2.7	4.5	99.3	欠損	33.7
建設	4.4 (0.7)	34.0 (0.9)	7.6	4.8	9.0	26.2	欠損	26.3
卸・小売	4.3 (0.7)	4.1 (1.7)	0.3	1.4	0.7	56.6	4.2倍	20.4
全産業	14.4 (8.4)	欠損	6.3	21.0	10.5	利益	欠損	利益

製商品・サービス需給判断（D.I.、全産業）は、「供給」超幅が拡大、製商品在庫判断（同）は、「過大」超幅が拡大。仕入価格判断（同）は、「下落」超に転化、販売価格判断（同）は、「下落」超幅が拡大。

（判断D.I.）

全産業ベース、回答社数の構成比、%ポイント

		07/12月	08/3月	6月	9月	12月	09/3月	6月 (予測)
製商品・ サービス需給	「需要超過」 「供給超過」	38	41	40	44	46	54(50)	50
製商品在庫	「過大超過」 「不足超過」	16	22	14	13	17	20()	
仕入価格	「上昇」 「下落」	51	51	65	60	16	3(9)	10
販売価格	「上昇」 「下落」	11	20	1	5	13	31(26)	36

3. 設備投資額（2008年度実績見込み、2009年度計画）等

2008年度の設備投資(ソフトウェア投資を除く)は、製造業が前年度比 41%、非製造業が同 32%と、大幅な減少の見込み。前回調査比では、食料品、電気・ガスで、企業合併に伴う増額修正があったことなどから、全体でも上方修正。

2009年度計画は、現時点では慎重なスタンスの先が多く、製造業は前年度比5割の減少。一方、非製造業は、情報通信や電気・ガスが前年度を上回っていることから、前年並みの計画。

(設備投資額[ソフトウェア投資を除く]) 上段: 前年同期比・%、下段(): 前回調査比修正率・%

	2008年度 (実績見込み)	2009年度(計画)		
		年度	上期	下期
製造業	40.7 ----- (6.5)	51.6	63.2	29.7
素材業種	49.0 ----- (28.6)	28.6	14.5	63.6
加工業種	40.4 ----- (2.2)	52.4	65.1	27.7
非製造業	31.5 ----- (12.9)	0.6	15.9	11.7
建設	22.3 ----- (2.6)	66.4	77.8	36.3
卸・小売	53.4 ----- (30.0)	14.5	59.1	58.9
全産業	39.9 ----- (5.1)	46.4	57.7	27.0

生産・営業用設備判断(D.I.)をみると、製造業、非製造業とも「過剰」超幅が拡大。

(生産・営業用設備判断D.I.) (「過剰」 - 「不足」) 回答社数の構成比、%ポイント

	07/12月	08/3月	6月	9月	12月	09/3月	6月 (予測)
製造業	0	11	7	15	19	44(31)	40
非製造業	7	7	13	8	8	11(5)	16
全産業	4	9	11	11	13	24(16)	26

4. 雇用人員判断

雇用人員判断(D.I.)をみると、製造業では「過剰」超幅が急速に拡大、一方、非製造業では「過剰」超幅が縮小。先行きについては、製造業、非製造業とも、「過剰」超幅の拡大を予測。

(判断D.I.) (「過剰」「不足」) 回答社数の構成比、%ポイント

	07/12月	08/3月	6月	9月	12月	09/3月	6月 (予測)
製造業	4	15	19	11	7	44(38)	60
非製造業	2	5	18	19	13	5(11)	21
全産業	3	9	19	16	11	21(23)	37

5. 企業金融関連判断

企業の資金繰り判断(D.I.、全産業)は、「苦しい」超幅が拡大。金融機関の貸出態度判断(同)は、「厳しい」超幅が拡大した。

借入金利水準判断(同)は、「低下」超に転化、先行きは再び「上昇」超に転化の予測。

(判断D.I.) 全産業、回答社数構成比、%ポイント

		07/12月	08/3月	6月	9月	12月	09/3月	6月 (予測)
資金繰り	「楽」「苦しい」	17	15	18	25	28	30()	
金融機関 貸出態度	「緩い」「厳しい」	3	3	2	7	8	16()	
借入金利 水準	「上昇」「低下」	35	22	22	13	3	17(2)	2

以上

本件に関する問い合わせ先
 日本銀行盛岡事務所
 TEL : 019-624-3622 (代)
<http://www3.boj.or.jp/morioka/>